

情報連絡員報告総括表（令和6年1月分）

三重県中小企業団体中央会
 連絡員総数 40名
 回答数 40名（100%）

業界の景気動向（前年同月比）

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>（臨時・パートを含む）</small>			業界景況								
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化						
製 造 業	食料品	2	2			3	1	2	2		1	3		1	3			4			4			4		1	3							
	繊維工業		3			3		2	1			3			1	2		1	2	1	1	1		2	1		1	2						
	木材・木製品			1		1				1			1			1		1				1		1				1						
	紙・紙加工品			2			2		1	1		1	1			2		1	1			2		2			1	1						
	印刷		1			1			1			1			1			1			1			1			1							
	化学・ゴム																																	
	窯業・土石製品		2	1		2	1	1	2			3			2	1		3			3			3			2	1						
	鉄鋼・金属		1			1			1			1			1			1			1			1			1							
	一般機器		2	1	1	2		1	2			3			2	1		3			2	1		3			1	2						
	電気機器			1		1			1			1			1				1			1		1				1						
	輸送機器			1			1			1		1				1		1				1			1			1						
その他																																		
小計		2	11	7	1	14	5	6	11	3	1	17	2	1	11	8		16	4	1	12	7		18	2	1	10	9						
非 製 造 業	卸売業		2			2		1	1			2			1	1		2		X				2			2							
	小売業	1	3	2		5	1	3	3			5	1		3	3		3	3					6			3	3						
	商店街	1			1			1				1		1				1						1			1							
	サービス業	1	3		X			2	2			4			3	1		3	1					4			4			3	1			
	建設業	1	2	1				2	1	1	1	2	1	1	1	2	1	2	1					2	1		4			3	1			
	運輸業		1						1			1			1			1						1			1			1				
	その他		1	1					2			2			2			2						2			2			2			2	
小計		4	12	4	1	7	1	9	10	1	1	17	2	2	11	7	1	14	5		20			1	14	5								
合計		6	23	11	2	21	6	15	21	4	2	34	4	3	22	15	1	30	9	1	12	7		38	2	2	24	14						

最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(令和5年1月～令和6年1月)

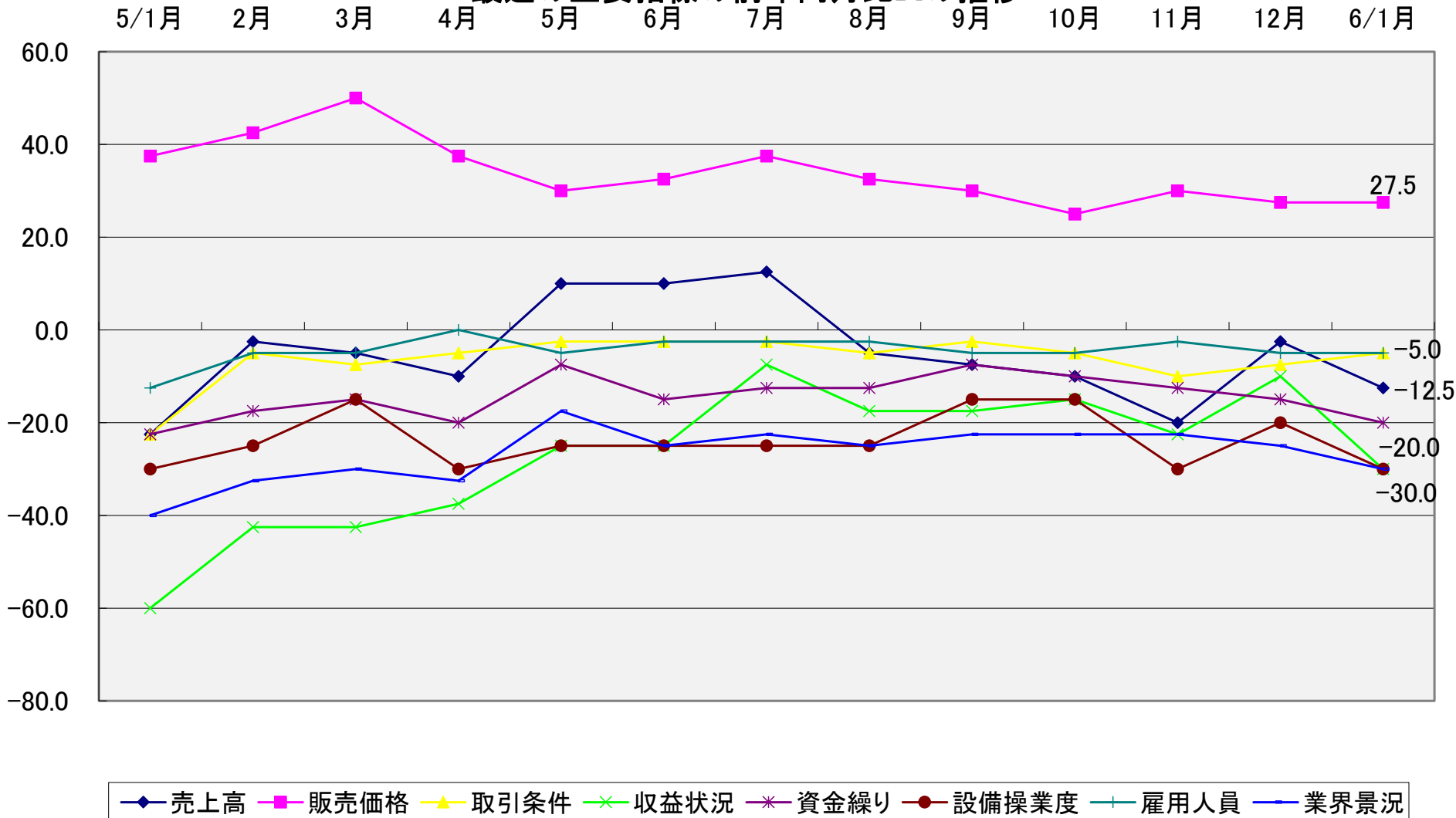
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	5/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6/1月	増減
売上高	-22.5	-2.5	-5.0	-10.0	10.0	10.0	12.5	-5.0	-7.5	-10.0	-20.0	-2.5	-12.5	-10.0
販売価格	37.5	42.5	50.0	37.5	30.0	32.5	37.5	32.5	30.0	25.0	30.0	27.5	27.5	0.0
取引条件	-22.5	-5.0	-7.5	-5.0	-2.5	-2.5	-2.5	-5.0	-2.5	-5.0	-10.0	-7.5	-5.0	2.5
収益状況	-60.0	-42.5	-42.5	-37.5	-25.0	-25.0	-7.5	-17.5	-17.5	-15.0	-22.5	-10.0	-30.0	-20.0
資金繰り	-22.5	-17.5	-15.0	-20.0	-7.5	-15.0	-12.5	-12.5	-7.5	-10.0	-12.5	-15.0	-20.0	-5.0
設備操業度	-30.0	-25.0	-15.0	-30.0	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0	-15.0	-15.0	-30.0	-20.0	-30.0	-10.0
雇用人員	-12.5	-5.0	-5.0	0.0	-5.0	-2.5	-2.5	-2.5	-5.0	-5.0	-2.5	-5.0	-5.0	0.0
業界景況	-40.0	-32.5	-30.0	-32.5	-17.5	-25.0	-22.5	-25.0	-22.5	-22.5	-22.5	-25.0	-30.0	-5.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



報告者名
報告年月

三重県中小企業団体中央会
令和6年1月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	漬物	生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足があり、また、ウクライナ戦争の影響及び円安による諸資材の高騰により、特に電気代の値上がりが経営を圧迫する状態が続いている。 今年の秋野菜の出荷は例年とほぼ同様で、年末年始にかけて例年並みの漬物製造が行われた。 更に2月以降にオンラインで組合員の情報交換会を予定している。 全漬連主催の全国漬物グランプリが東京で開催される予定で県内からも出品を検討している。
	醤油味噌	年末の繁忙期が過ぎ生産も落ち着き在庫調整時期である。1日に発生した能登半島地震により能登地方のしょうゆ、味噌生産者の中には建物、設備、自宅が全壊または半壊した事業者があると聞いた。業界上げての支援を行う必要がある。醸造企業は中小零細が多く、設備の更新、修繕が思うようにできない事業者が多く三重県に南海、東南海地震が発生した場合には、当組合の事業者の被害は避けられない。組合として災害リスクを想定した対策が求められると同時に組合員に対しても啓蒙していく必要がある。
	他に分類されない食料品 製造業	パート従業員の一部を社会保険加入に決めた。時間給を上げれば106万円、130万円の壁を越えてしまう。人員を新たに採用することも考えていかなければならない。零細企業にとっては従業員の働き方を考えなければならぬ過渡期にきている。異物混入が起こり、あれほど衛生安全に気を付けているのに残念だけれど、また新たに気を引き締め対処していかなければならない。
	製麺	年末年始にかけて、昨年に比べてかなり人手も戻りつつある。能登の地震があり、大変な事態になった。地震の炊き出しに2月7、8日にかけて麺を食べていただく。昨年2社が廃業され、組合員も減ってきている。全国をみて現在800社を切り、年に100社位が減っている状況である。三重県も伊勢うどんを中心に営業活動に取組んでいく。
繊維工業	衣料縫製	あらゆるものの価格高騰により、大変厳しい状況である。
木材・木製品	木材	燃料費、輸送費等のコスト高騰が依然として経営を圧迫している。
紙・紙加工品	木材チップ	原材料価格が高止まりしているため原料確保が課題である。
	古紙	1月の古紙仕入量：段ボール・約97±4%、新聞、チラシ・約87±4%、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約89±5%。発注元からの仕事は減り、同業者からの管理会社の仕事が増えており、仕入価格が関東価格に引きずられて高くなってきているようである。対ドル為替も147円前後で推移している中、古紙の非発注期の2月を迎えるにあたって、やっと国内古紙価格を全品キロ当たり1~5円程度高くなったが、まだまだ輸出業者の見積価格に違和感が残る。有名観光地や大都市圏の宿泊やサービス業・飲食店等はインバウンドで忙しいようで羨ましい感で管理会社や東京本社の段ボール古紙集荷業務を取った中部の大手同業者は集荷量が前年以上となり、取られた同業者は古紙の集荷量が軒並みマイナスとなったようである。他県の同業者は異次元の古紙仕入価格で入札をしたものの、名古屋市内の同業者と同じく今期赤字のようである。地方の国内中心経営の古紙回収卸売業会社の恩恵は少なく、生き残るには持続可能な取引で製紙原料古紙リサイクル事業が常に採算を合うように経営努力をしながら、地域の皆様に喜んでいただける仕事を続けるしかないように思う。一般的な国民はインボイス制度と電子帳簿保存法等、国民の権利と義務を得ているが、収入と支出の不記載や領収書無しの金銭の使用を不平等と思わない人も、日本でゴミ等の置き去りや古紙や古着の持ち去りの行為等を速やかに適切に立法化していただけるとありがたい。
印刷	印刷	①年明け早々に発災した能登半島を中心とした地震による三重県内事業者への影響については、大きくない模様だが、今後起こるとされる東南海地震による被害を考えた際、能登地方の様子から考えると、県内事業者への影響は甚大なものと推察される。 ②1月に入り、仕事は動きつつあるが、行政機関からの仕事においては、変わらず低価格での応札がみられる。また、著作権問題では、フリー素材を使い制作した印刷データの譲渡を未だに求められる。フリー素材とはいえ、契約関係は素材会社または個人の素材サイトと印刷制作会社間のみであって、使用目的も発注者の印刷製品もしくはWEB掲載まで、製作した一切の著作権譲渡を求めてみる。フリー素材とはいえ、著作権は素材を扱う会社から移動しないことを理解されない。そのため、三重県印刷工業より、要望を提出しているが、まったく改善されない。 ③また政府より、労務費や原材料費の上昇分を価格転嫁できていない22の重点業種に印刷業も含まれたが、発注者によっては、値上げなら他社からも見積りを取られるような事態が往々にあり、結果、受注機会を失う、または価格据え置きでの取引が続くと思われる。
窯業・土石製品	伊賀焼	組合員については、忙しくしているように感じる。しかし、原材料不足への不安（特にペタライト）により、受注など受けられない状況になりつつある。
鉄鋼・金属	鍍金	業界の生産額は、前月とほぼ変化がない状況であり、今年度は同様の状況が続く見込みである。車載関連については従来のリレー部品から半導体リレー部品に転換しつつあるためその流れに対応していく必要がある。

製
造
業

報告者名
報告年月

三重県中小企業団体中央会
令和6年1月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
	一般機器	四日市市	各企業により濃淡があるが需要、業績は停滞気味である。これまでの半導体不足や紛争の影響の他に急激な円安、あらゆる物価の上昇も響いている。販売価格が上昇できても経費の転嫁のみで人件費上昇分を反映させるのが難しいことと、給与UPでも人が集められない影響もみられる。自動車業界不正問題での影響は現在のところ未知数、2024年は景気が上向き予想であったが腰を折られた状況か、そこを乗り越え、工業製品の需要増、設備投資につながっていくことを期待したい。
		津市	年末年始休みによる稼働日数は少ないが、昨年の売上からみても良くない。中国や欧州向けのEV関連の部品受注が落ちていることが影響している。ただ、得意先に質問してもなぜ受注が落ちているかが分からないらしく、今後の先行きも不透明であることには変わらない。
		伊勢市	年が明けても悪い状態は変わらない。景気が底を打ち、大企業は良くなってきているようであるが、中小企業には実感が無い。T社系の会社の国の認証不正で工場停止になった影響も出ている。2月からは一部再開の兆しもあるが、先行きの見通しは出ていない。
	電気機器	鳥羽市	年度末の受発注が少し動き出し、昨年同時期の80~90%まで回復してきている。しかし、業績として非常に厳しい。
	輸送機器	伊勢市	動力費の価格転嫁に応じてもらえた分が、最近の燃料価格の落ち着きで単価下落要因となっている。物量減少により、定時割れの可能性も出てきている。売上減少により固定費負担の割合が増加し、重荷となるケースがある。
非 製 造 業	小売業	青果	野菜前半：全体的に入荷量が安定し、値下げした品目もある。特にキャベツは生育も良く、甘味がありお買い得である。白菜も例年より安い。北海道産の玉ねぎは入荷が安定しており、価格も落ち着いている。レタスも徐々に価格が下がっている。野菜後半：荷動きが鈍く、キャベツ、人参、ブロッコリーがお値打ちである。長野県産のエノキ茸もお値打ちである。静岡県産、愛知県産の新玉ねぎの入荷が増え始め、サラダ等にできて人気がある。きゅうりは節分の恵方巻用として需要が高まり、値上がりしている。 果物前半：イチゴの入荷が増え甘味と酸味のバランスが良く、味は最高で価格もお値打ちである。みかんは県内産、和歌山県産を中心に入荷も順調であるが、価格はやや高い。りんごは入荷が少なく、価格はかなり高値に推移している。 果物後半：全体的に高値で推移している、イチゴは県内産を中心に順調に入荷している。下旬から入荷のピークを迎えお値打ちになる。みかんの品種が青島に変わり、味も良いが価格はやや高値である。中晩柑、デコポン、ポンカンの入荷も増え、種類も多くなりそうである。
		自転車	EVバイク、EVキックボード等の普及が見込まれ、自転車業界も変革期を迎える中、やはりこの時期は中学新入学商品の予約販売に重きをおき、各ショップが展示会を開催するも少子化の影響により、昨年比でマイナス25%強の台数となった。まだ来店していないお客様もあると聞き、2月以降に期待するところである。また、商品の入荷に関しては今年は順調とお聞きしている。組合活動として元旦に発生した能登半島地震で倒壊、被災された石川、富山両県の店舗、住居に対し見舞義援金募集の動きを始めている。
		電器	年が明けて毎年比較的動きが少ない時期で静かな月だった。暖かい氣候が続いているのでエアコンを含めた暖房機器などの売れ行きは弱かった。能登半島地震の被災地への物資として家電製品もこれから含まれると思うので品不足の状況が起きてくるかもしれない。商品全体として価格帯は値上がりしたままであるが、この価格帯が一般的なものになりつつある。
		石油	日本エネルギー経済研究所が先ごろ発表した2024年度の油種別販売見通しによると、2023年度の燃料油販売量は自動車用や電力用での需要減が著しく、前年度に比べ1.3%減の1億4,890万キロリットルとなり、1億5,000万キロリットルの大台を割り込むとした。2024年度も政府の燃料油価格激変緩和事業の終了を見据え、価格高騰に伴う燃料油転換や省エネに加え、自動車用やエチレン原料用、電力用での減少が目立ち1.2%減の1億4,710万キロリットルまで落ち込むと見通した。我々SS業界にとっては2050年カーボンニュートラルの進展などに伴う石油製品の需要減など将来への不安が浮き彫りとなった。
		スポーツ	季節は冬真っ盛り、本来ならウインタースポーツ用品の販売時期であるが、若年層のスキー離れ、スノーボードも人気薄で県内の組合員で冬物(スキー、スノーボード商品)を扱う所が全くなかった。それで1月、2月は当業界にとってはオフシーズンである。 税制改革に関しては、煩わしいだけである。

報告者名
報告年月

三重県中小企業団体中央会
令和6年1月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
商店街	熊野市	特産のさんま丸干しを広く知ってもらおうと商店街内で開催されてきた「熊野きのもとさんま祭り」が、新型コロナの影響で延期が続いていたが4年ぶりに開催された。今回は地元出身のお笑いコンビにもさんま丸干しのふるまいに参加いただき、たくさんの方で賑わった。また、出店された店舗も通常開催より売上も多く、早くに売り切れる飲食関係も見受けられた。
	旅館	年末年始は天候にも恵まれ、カレンダーの曜日の並びも良かったため、10日間程連続で満館になっていた施設も多かったようである。宿泊料も少しずつではあるが値上がり傾向にあり、諸物価の高騰を全て吸収しきれないが、明るい兆しのようなところがある。1月全体では、前年同月比120~130%、2019年同月比は70~80%程のようであった。
サービス業	警備	例年のように受注は多くあるが、警備員不足で大変である。
	内装工事業	1月は大幅に売上が上昇した。対前年同月比で倍増近く伸びた。年度末に向け、売上が増加すると思われる。
建設業	水道工事業 (亀山市)	年が明けても資材価格の高騰や品不足が続いている。仕事の受注はあるが、利益が出るかは不透明な状況にある。また、雇用人員についても、人手不足で求人募集しても人が集まらず新規雇用が出来ず、人手不足は解消できていない。
	トラック	軽油価格はほぼ横這いで推移している。依然として高止まり傾向が続いていることから経営を圧迫している。電子デバイス部門は、世界的な半導体市況の底打ち感が見られるため、先月に比べ若干回復傾向にあり、関連する輸送も微増で推移した。自動車部門ではトヨタ自動車、ホンダ技研とも好調を維持しているが、ダイハツ工業の認証取得不正の発覚が輸送部門にも影響を与えたことから、ほぼ先月並みとなった。スーパー小売部門については、ほぼ横這いで推移したため、関連する輸送も横這いとなった。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	他に分類されない食料品 製造業	助成金の情報と申請する場合の手続きは中央会でしてくれるのか？その手数料は？どんな助成金があって、期限は？必要な時に相談にのって欲しい。
食料品	製麺	中央会主催の賀詞交歓会では、一見知事とお会いできて伊勢うどんの話ができた。
一般機器	四日市市	2024年も物価の上昇や人手不足が問題になるはず。政府により中小企業の価格転嫁を促す指針が発表された。引き続き細やかな支援をお願いしたい。
小売業	スポーツ	スポーツ用品店はインボイス制度に関してあまり関係はない。電子帳簿保存法は事務の手間がかかるため厄介である。国税は中小企業の事を考えてくれないと怒りを覚える。
サービス業	旅館	昨年2月10日より始まった「おいでよ！みえ旅キャンペーン」の効果が強烈だったの比べると、現在催行して頂いている「ゆったり平日キャンペーン」の効果は告知不足もあってか、引き合いが弱い。OTA (インターネット↑上だけで取引を行う旅行会社) でも利用できるようにすれば、もっと実績が上がると思う。ご一考いただきたい。